

Vostro 5501

セットアップと仕様ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: PC のセットアップ	5
章 2: シャーシの概要	7
ディスプレイ ビュー	7
左面図	8
右面図	8
パームレストの図	9
底面図	10
キーボードのショートカット	10
章 3: システム仕様	12
プロセッサ	12
チップセット	13
オペレーティング システム	13
メモリー	13
ストレージ	14
ポートとコネクタ	14
オーディオ	15
ビデオ	15
カメラ	16
通信	16
メディアカードリーダー	17
電源アダプター	17
バッテリー	17
寸法と重量	18
ディスプレイ	19
キーボード	19
タッチパッド	20
タッチパッドジェスチャ	20
指紋認証リーダー (オプション)	20
セキュリティ	20
セキュリティ ソフトウェア	21
コンピュータ環境	21
章 4: ソフトウェア	22
Windows ドライバのダウンロード	22
章 5: セットアップユーティリティ	23
ブートメニュー	23
ナビゲーションキー	23
ブート シーケンス	24
BIOS セットアップ	24
概要	24
起動設定	25

内蔵デバイス.....	26
ストレージ.....	27
ディスプレイ.....	27
Connection options (接続オプション)	28
電源管理.....	28
セキュリティ.....	29
パスワード.....	30
アップデートとリカバリー.....	32
システム管理.....	33
キーボード.....	33
起動前の作動.....	34
仮想化サポート.....	35
パフォーマンス.....	35
システムログ.....	36
Windows での BIOS のアップデート.....	36
BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート.....	37
Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート.....	37
F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のフラッシュ.....	37
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	40
システム セットアップパスワードの割り当て.....	40
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	41
章 6: ヘルプ.....	42
Dell へのお問い合わせ.....	42

PC のセットアップ

1. 電源アダプターを接続して、電源ボタンを押します。



- ① **メモ:** バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。電源アダプターを接続し、電源ボタンを押して PC をオンにします。
- ① **メモ:** コンピューターの電源を初めてオンにしてセットアップすると、その後は閉じ位置からディスプレイを開くだけでコンピューターをオンにすることができます。

2. オペレーティング システムのセットアップを終了します。

Ubuntu の場合：

画面の指示に従ってセットアップを完了します。Ubuntu のインストールと設定の詳細については、www.dell.com/support で、サポート技術情報記事 [SLN151664](#) および [SLN151748](#) を参照してください。

Windows の場合：画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下をお勧めします。

- ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
 - ① **メモ:** セキュアなワイヤレス ネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレス ネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
- インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- Support and Protection **サポートおよび保護**の画面で、連絡先の詳細を入力します。

3. Windows スタートメニューからデルのアプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. デルのアプリを見つける

デル アプリ	詳細
	My Dell 主なデルのアプリケーション、ヘルプ記事、お使いの PC に関するその他の重要な情報を一元的に表示します。また、保証のステータス、推奨されるアクセサリー、およびソフトウェアアップデート（使用可能な場合）についても通知します。

表 1. デルのアプリを見つける（続き）

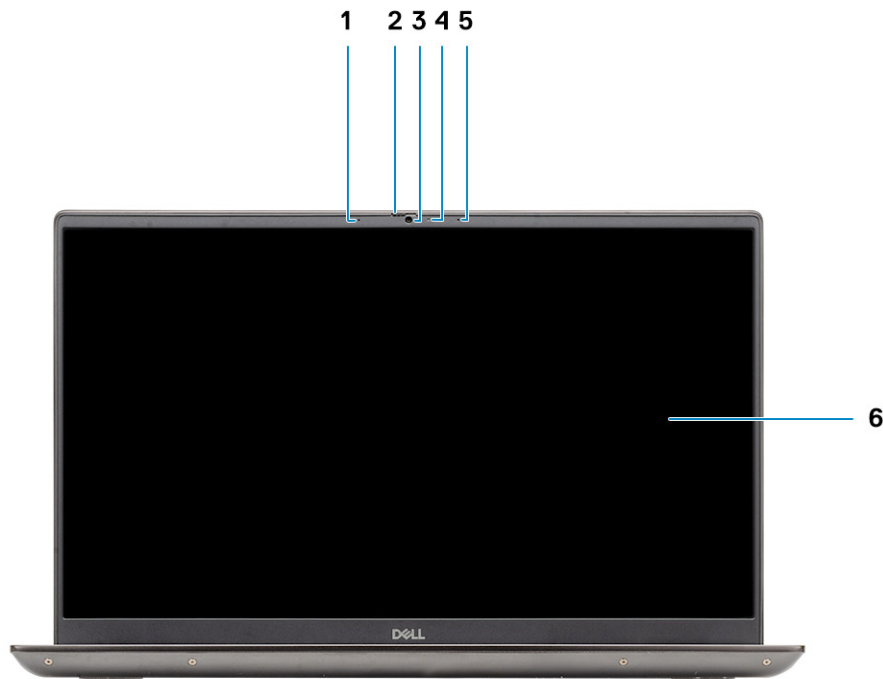
デル アプリ	詳細
	Dell 製品の登録 デルに、お使いの PC を登録します。
	デルのヘルプとサポート PC のヘルプとサポートにアクセスします。
	SupportAssist PC のハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。  メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。
	Dell Update 重要な修正プログラムおよびデバイス ドライバが提供された場合に、お使いの PC を更新します。
	Dell Digital Delivery さまざまなソフトウェアアプリケーション（購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアなど）を、お使いの PC にダウンロードします。

シャーシの概要

トピック：

- ディスプレイ ビュー
- 左面図
- 右面図
- パームレストの図
- 底面図
- キーボードのショートカット

ディスプレイ ビュー



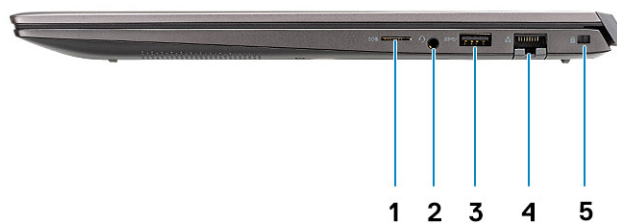
1. マイクロフォン
2. カメラ用シャッター
3. カメラ
4. カメラステータスライト
5. マイクロフォン
6. ディスプレイ

左面図



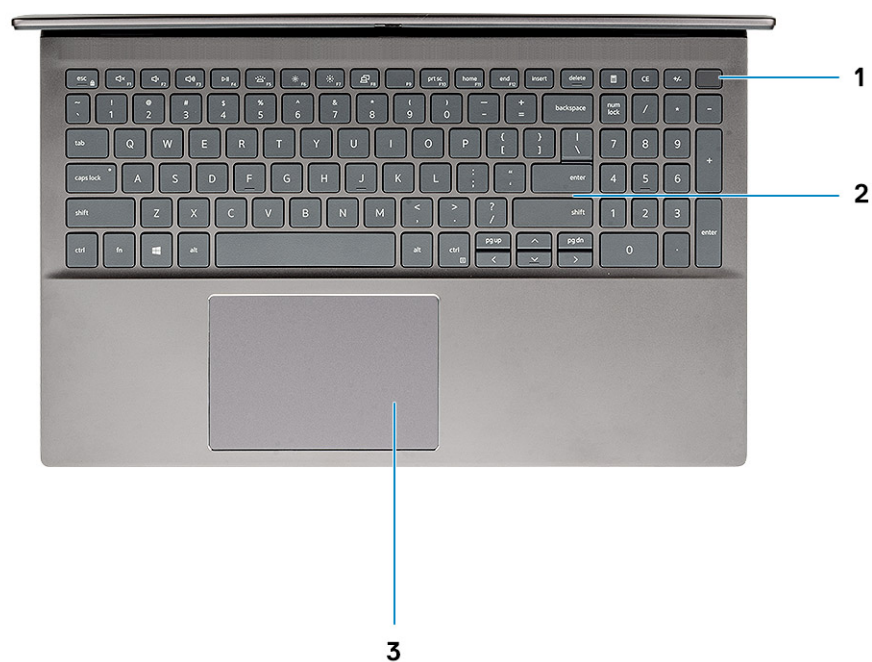
1. 電源コネクタ ポート
2. 電源 LED
3. HDMI 1.4b ポート
4. USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート
5. USB 3.2 Gen 1 Type-C ポート (DisplayPort Alt モード対応)

右面図



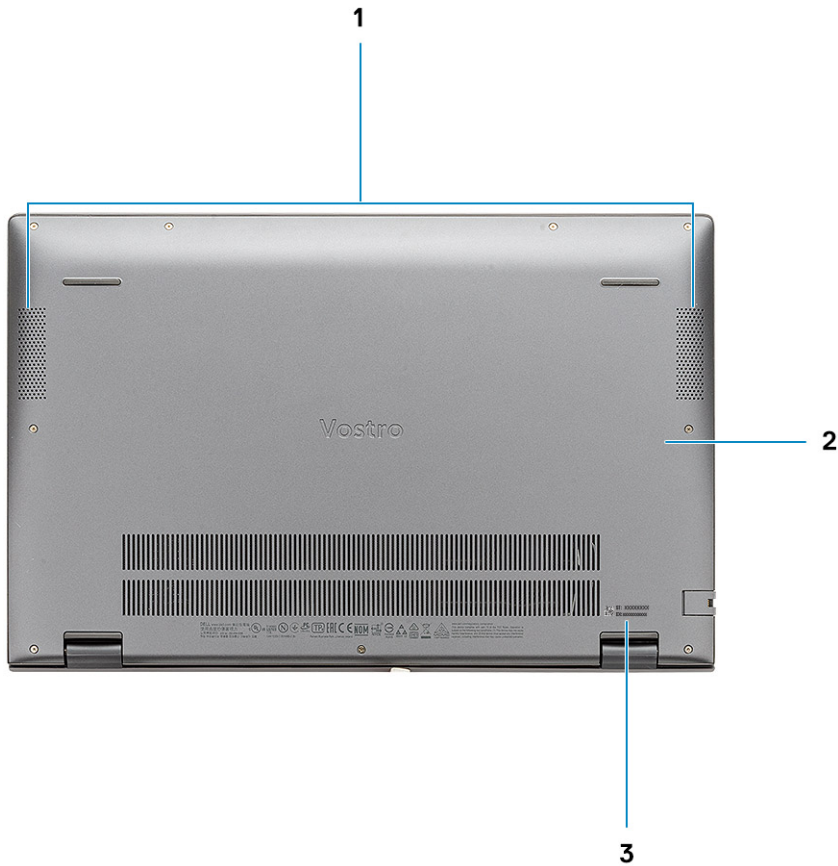
1. microSD カード リーダー
2. ヘッドセット / マイク ロホン ポート
3. USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート
4. ネットワーク ポート
5. くさび形 ロック スロット

パームレストの図



1. 電源ボタン（オプションの指紋認証リーダー内蔵）
2. キーボード
3. タッチパッド

底面図



- 1. スピーカー
- 2. ベース カバー
- 3. サービス タグ ラベル

キーボードのショートカット

① メモ: キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	説明
Fn+Esc	Fn キーロックの切り替え
Fn+F1	消音
Fn+F2	ボリュームを下げる
Fn+F3	ボリュームを上げる
Fn+F4	再生 / 一時停止
Fn+F5	キーボード背面ライト

表 2. キーボードのショートカットのリスト（続き）

キー	説明
	 メモ: バックライトなしのキーボードには適用されません。
Fn+F6	スクリーンの明るさを下げる
Fn+F7	スクリーンの明るさを上げる
Fn+F8	外部ディスプレイ
Fn+F10	プリント スクリーン
Fn+F11	ホーム
Fn+F12	終了
Fn+右 Ctrl	アプリケーション メニューを開く

システム仕様

① メモ: 提供されるものは地域により異なる場合があります。次の仕様には、コンピューターの出荷に際し、法により提示が定められている項目のみを記載しています。コンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティング システムで [ヘルプとサポート] を開き、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

トピック：

- プロセッサ
- チップセット
- オペレーティング システム
- メモリー
- ストレージ
- ポートとコネクター
- オーディオ
- ビデオ
- カメラ
- 通信
- メディアカードリーダー
- 電源アダプター
- バッテリー
- 寸法と重量
- ディスプレイ
- キーボード
- タッチパッド
- 指紋認証リーダー（オプション）
- セキュリティ
- セキュリティ ソフトウェア
- コンピュータ環境

プロセッサ

表 3. プロセッサ

説明	値		
プロセッサ	第 10 世代インテル Core i3-1005G1 プロセッサ	第 10 世代インテル Core i5-1035G1 プロセッサ	第 10 世代インテル Core i7-1065G7 プロセッサ
ワット数	15 W	15 W	15 W
コア数	2	4	4
スレッド数	4	8	8
速度	最大 3.4 GHz	最大 3.6 GHz	最大 3.9 GHz
キャッシュ	4 MB	6 MB	8 MB
内蔵グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル UHD グラフィックス	インテル Iris Plus グラフィックス

チップセット

次の表には、Latitude 5320 でサポートされているチップセットの詳細が一覧表示されています。

表 4. チップセット

説明	値
チップセット	内蔵
プロセッサ	第 10 世代インテル Core i3/i5/i7
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	16 MB + 8 MB
PCIe バス	Gen3 まで

オペレーティング システム

Vostro 5501 では、次のオペレーティング システムをサポートしています。

- Windows 10 Professional (64 ビット)
- Windows 10 Home (64 ビット)
- Ubuntu 18.04

メモリー

次の表には、Vostro 5501 のメモリーの仕様がリスト表示されています。

表 5. メモリーの仕様

説明	値
スロット	2 x SODIMM スロット
タイプ	DDR4
スピード	3200 MHz
最大メモリー	32 GB
最小メモリー	4 GB
スロットごとのメモリー サイズ	4 GB、8 GB、16 GB
サポートされている構成	• 4 GB、1 x 4 GB、DDR4、3200 MHz • 8 GB、2 x 4 GB、DDR4、3200 MHz • 8 GB、1 x 8 GB、DDR4、3200 MHz • 12 GB、1 x 8 GB + 1 x 4 GB、DDR4、3200 MHz • 16 GB、2 x 8 GB、DDR4、3200 MHz • 16 GB、1 x 16 GB、DDR4、3200 MHz • 32 GB、2 x 16 GB、DDR4、3200 MHz

ストレージ

お使いの PC では、以下のいずれかの構成がサポートされています。

- M.2 ドライブ x1
- M.2 ドライブ x2

PC のプライマリ ドライブは、ストレージ構成により異なります。M.2 ドライブが 2 台搭載されている PC では、SSD-1 M.2 ドライブがプライマリ ドライブです。

表 6. ストレージの仕様

ストレージのタイプ	インターフェイスのタイプ	容量
M.2 2230、PCIe NVMe、ソリッドステート ドライブ	PCIe NVMe	128 GB、256 GB、および 512 GB
M.2 2280、PCIe NVMe、ソリッドステート ドライブ	PCIe NVMe	256 GB、512 GB、1 TB、2 TB
M.2 2280、PCIe QLC NVMe、ソリッドステート ドライブ	PCIe NVMe	512 GB
M.2 2280、PCIe NVMe、インテル Optane ストレージ	PCIe NVMe	512 GB

ポートとコネクター

表 7. 外部ポートとコネクター

説明	値
外部：	
ネットワーク	1 x RJ 45
USB	• 1 x USB 3.2 Gen 1 Type-C ポート (DisplayPort Alt モード / Power Delivery 対応) • 2 x USB 3.2 Gen 1 Type-A ポート
オーディオ	ユニバーサル オーディオ ジャック x1
ビデオ	1 x HDMI 1.4b ポート
メディア カード リーダー	1 x microSD
ドッキングポート	非対応
電源アダプターポート	1 x DC 入力ポート
セキュリティ	くさび形スロット x1

表 8. 内部ポートとコネクター

説明	値
内部：	
M.2	• Wi-Fi/Bluetooth コンボ カード用 M.2 2230 スロット (1) • 1 x ソリッドステート ドライブ/インテル Optane 用 M.2 2230/2280 スロット • ソリッドステート ドライブ/インテル Optane 用 M.2 2280 スロット x1

表 8. 内部ポートとコネクタ（続き）

説明	値
	 メモ: さまざまなタイプの M.2 カードの機能の詳細については、ナレッジ ベース記事 SLN301626 を参照してください。

オーディオ

表 9. オーディオの仕様

説明	値				
コントローラー	Realtek ALC3204				
ステレオ変換	対応				
内部インターフェイス	ハイ デフィニション オーディオ インターフェイス				
外部インターフェイス	ユニバーサルオーディオジャック				
スピーカー	2 台				
アンプ内蔵スピーカー	対応（オーディオ コーデック内蔵）				
外部ボリューム コントロール	キーボード ショートカット コントロール				
スピーカー出力：					
	<table> <tr> <td>平均値</td><td>2 W</td></tr> <tr> <td>ピーク 値</td><td>2.5 W</td></tr> </table>	平均値	2 W	ピーク 値	2.5 W
平均値	2 W				
ピーク 値	2.5 W				
サブウーハー出力	非対応				
マイクロフォン	デュアルアレイマイクロフォン				

ビデオ

表 10. 専用グラフィックス カードの仕様

専用グラフィックスカード		
コントローラー	メモリー サイズ	メモリーのタイプ
NVIDIA GeForce MX330	2 GB	GDDR5

表 11. 内蔵グラフィックの仕様

内蔵グラフィックス		
コントローラー	メモリー サイズ	プロセッサー
インテル UHD グラフィックス	共有システム メモリー	第 10 世代インテル Core i3/i5
インテル Iris Plus グラフィックス	共有システム メモリー	第 10 世代インテル Core i7

カメラ

表 12. カメラの仕様

説明		値
カメラの数		1 回
タイプ		HD RGB カメラ
場所		前面カメラ
センサーのタイプ		CMOS センサーテクノロジー
解像度：		
	静止画像	0.92 メガピクセル
	ビデオ	1280 x 720 (HD)(30 fps)
対角視野角		74.9 度

通信

イーサネット

表 13. Ethernet の仕様

説明	値
Model number (モデル番号)	RTL8111
転送レート	10/100/1000 Mbps

ワイヤレス モジュール

表 14. ワイヤレス モジュールの仕様

説明	値		
Model number (モデル番号)	インテル 9462	インテル AX201	Qualcomm QCA61x4A (DW1820)
転送レート	最大 433 Mbps	最大 2400 Mbps	最大 867 Mbps
サポートされている周波数帯域	2.4 GHz/5 GHz	2.4 GHz/5 GHz	2.4 GHz/5 GHz
ワイヤレス規格	- Wi-Fi 802.11a/b/g - Wi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n) - Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac)	- Wi-Fi 802.11a/b/g - Wi-Fi 4 (Wi-Fi 802.11n) - Wi-Fi 5 (Wi-Fi 802.11ac) - Wi-Fi 6 (Wi-Fi 802.11ax)	- Wi-Fi 802.11a/b/g - Wi-Fi 802.11n - Wi-Fi 802.11ac
暗号化	64 ビット/128 ビット WEP - AES-CCMP - TKIP	64 ビット/128 ビット WEP - AES-CCMP - TKIP	64 ビット/128 ビット WEP - AES-CCMP - TKIP

表 14. ワイヤレス モジュールの仕様（続き）

説明	値		
Bluetooth	Bluetooth 5.0	Bluetooth 5.1	Bluetooth 5.0

メディアカードリーダー

表 15. メディアカードリーダーの仕様

説明	値
タイプ	microSD カード (1)
サポートされるカード	セキュア デジタル (SD)

電源アダプター

表 16. 電源アダプターの仕様

説明	値	
タイプ	45 W	65 W
直径 (コネクター)	4.50 mm +/-1 mm x 2.90 mm +/-1 mm	4.50 mm +/-1 mm x 2.90 mm +/-1 mm
入力電圧	AC 100 V x AC 240 V	AC 100 V x AC 240 V
入力周波数	50 Hz x 60 Hz	50 Hz x 60 Hz
入力電流 (最大)	1.30 A	1.6 A/1.7 A
出力電流 (連続)	2.31 A	3.34 A
定格出力電圧	19.50 VDC	19.50 VDC
温度範囲 :		
動作時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
ストレージ	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

バッテリー

表 17. バッテリーの仕様

説明	値	
タイプ	40 WHr、3 セル スマート リチウムイオン	53 WHr、4 セル スマート リチウムイオン
電圧	DC11.25 V	DC15.00 V
重量 (最大)	0.18 kg (0.40 lb)	0.24 kg (0.53 ポンド)
寸法 :		
高さ	184.10 mm (7.25 インチ)	239.10 mm (9.41 インチ)

表 17. バッテリーの仕様（続き）

説明		値	
	幅	90.73 mm (3.57 インチ)	90.73 mm (3.57 インチ)
	奥行き	5.75 mm (0.23 インチ)	5.75 mm (0.23 インチ)
温度範囲 :			
	動作時	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)
	ストレージ	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
動作時間		バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。
充電時間（概算）		4 時間（PC の電源がオフの場合） <i>i</i> メモ: Dell Power Manger アプリケーションを使用して、充電時間、持続時間、開始時刻と終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、 www.dell.com/ja-jp で『私とマイデル』を参照してください。	4 時間（PC の電源がオフの場合） <i>i</i> メモ: Dell Power Manger アプリケーションを使用して、充電時間、持続時間、開始時刻と終了時刻などを制御します。Dell Power Manager の詳細については、 www.dell.com/ja-jp で『私とマイデル』を参照してください。
コイン型電池		2032	2032
動作時間		バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。

寸法と重量

表 18. 寸法と重量

説明		値
高さ :		
	前面	14.15 mm (0.55 インチ)
	背面	17.90 mm (0.70 インチ)
幅		356.10 mm (14.01 インチ)
奥行き		234.50 mm (9.23 インチ)
重量		1.70 kg (3.74 lb) <i>i</i> メモ: PC の重量は、発注時の構成や製造上の条件により異なる場合があります。

ディスプレイ

表 19. ディスプレイの仕様

説明		値	
タイプ		フルハイ ディフィニション (FHD) 15.6 インチ	フルハイ ディフィニション (FHD) 15.6 インチ
パネルテクノロジー		WVA (広い視野角)	WVA (広い視野角)
輝度 (標準)		300 ニット	220 nits
寸法 (アクティブ エリア):			
	高さ	193.60 mm (7.62 インチ)	193.60 mm (7.62 インチ)
	幅	344.20 mm (13.55 インチ)	344.20 mm (13.55 インチ)
	対角線	395 mm (15.55 インチ)	395 mm (15.55 インチ)
ネイティブ解像度		1920 x 1080	1920 x 1080
メガピクセル		2	2
色域		72% NTSC	45% NTSC
1 インチあたりの画素数 (PPI)		142	142
コントラスト比 (最小)		600:1	400:1
応答時間 (最大)		35 ミリ秒	35 ミリ秒
リフレッシュレート		60 Hz	60 Hz
水平可視角度		+/- 85 度	+/- 85 度
垂直可視角度		+/- 85 度	+/- 85 度
ピクセルピッチ		0.18 mm	0.18 mm
消費電力 (最大)		6.2 W	4.2 W
非光沢 vs 光沢仕上げ		非光沢	非光沢
Touch のオプション		タッチ スクリーンなし	タッチ スクリーンなし

キーボード

表 20. キーボードの仕様

説明	値
タイプ	標準キーボード
レイアウト	QWERTY
キーの数	● 米国とカナダ : 101 キー ● 英国 : 102 キー ● 日本 : 105 キー

表 20. キーボードの仕様（続き）

説明	値
サイズ	X=18.70 mm キー ピッチ Y = 18.05 mm キー ピッチ

タッチパッド

表 21. タッチパッドの仕様

説明	値
解像度：	
水平方向	3512
垂直方向	2442
寸法：	
水平方向	115 mm (4.53 インチ)
垂直方向	80 mm (3.15 インチ)

タッチパッドジェスチャ

Windows 10 のタッチパッド ジェスチャーの詳細については、support.microsoft.com にある Microsoft ナレッジベースの記事 4027871 を参照してください。

指紋認証リーダー（オプション）

表 22. 指紋リーダーの仕様

説明	値
センサーテクノロジー	容量式
センサーの解像度	500 dpi
センサーの領域	4.06 mm x 3.25 mm
センサーのピクセルサイズ	80 x 64

セキュリティ

表 23. セキュリティの仕様

機能	仕様
TPM (Trusted Platform Module) 2.0	システム ボード内蔵
指紋認証リーダー	オプション
くさび形ロックスロット	Standard (標準)

セキュリティ ソフトウェア

表 24. セキュリティ ソフトウェアの仕様

仕様
マカフィー スモール ビジネス セキュリティの 30 日間の評価版
マカフィー スモール ビジネス セキュリティの 12 か月間のサブスクリプション、デジタル配信
マカフィー スモール ビジネス セキュリティの 24 か月間のサブスクリプション、デジタル配信
マカフィー スモール ビジネス セキュリティの 36 か月間のサブスクリプション、デジタル配信

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 25. コンピュータ環境

説明	動作時	ストレージ
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10% ~ 90% (結露なし)	0% ~ 95% (結露なし)
振動 (最大) *	0.66 GRMS	1.30 GRMS
衝撃 (最大)	110 G†	160 G†
高度 (最大)	-15.2 m ~ 3048 m (4.64 フィート ~ 5518.4 フィート)	-15.2 m ~ 10668 m (4.64 フィート ~ 19234.4 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- [Windows ドライバのダウンロード](#)

Windows ドライバのダウンロード

1. ノートパソコンの電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. [製品サポート] をクリックし、ノートパソコンのサービス タグを入力して、[送信] をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートパソコンのモデルを手動で参照してください。
4. [Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)] をクリックします。
5. お使いのノートパソコンにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
7. [ファイルのダウンロード] をクリックして、お使いのノートパソコン用のドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブル クリックし、画面の指示に従います。

セットアップユーティリティ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピュータが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、後で参照できるように、BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使います。

- RAM の容量やハード ドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハード ドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

トピック：

- [ブートメニュー](#)
- [ナビゲーションキー](#)
- [ブート シーケンス](#)
- [BIOS セットアップ](#)
- [Windows での BIOS のアップデート](#)
- [システムパスワードおよびセットアップパスワード](#)

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら<F12>を押して、ワнтаイム ブート メニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- [UEFI 起動デバイス]:
 - ウィンドウズブートマネージャー
 - UEFI ハード ドライブ
 - オンボード NIC (IPV4)
 - オンボード NIC (IPV6)
- [起動前タスク]:
 - BIOS セットアップ
 - 診断
 - BIOS のアップデート
 - SupportAssist OS リカバリー
 - BIOS フラッシュのアップデート：リモート
 - デバイス構成

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー

上矢印

ナビゲーション

前のフィールドに移動します。

キー	ナビゲーション
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ブート シーケンス

ブート シーケンスを利用すると、セットアップ ユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス（例：光学ドライブまたはハード ドライブ）から直接起動することができます。電源投入時の自己テスト（POST）中にデルのロゴが表示されたら、以下が可能になります。

- F2 キーを押してセットアップ ユーティリティにアクセスする
- F12 キーを押してワнтаイム ブート メニューを立ち上げる

ワнтаイム ブート メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ（利用可能な場合）
- STXXXX ドライブ
 - ① **メモ:** XXXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ（利用可能な場合）
- SATA ハード ドライブ（利用可能な場合）
- 診断
 - ① **メモ:** [診断] を選択すると [SupportAssist 診断] 画面が表示されます。

ブート シーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

BIOS セットアップ

① **メモ:** お使いのノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

概要

表 26. 概要

オプション	説明
[システム情報]	このセクションには、PC の主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 このオプションは次のとおりです。 • [システム情報] ○ BIOS バージョン ○ サービス タグ ○ Asset Tag ○ 製造日 ○ 購入日 ○ エクスプレス サービス コード ○ 所有者タグ ○ 署名されたファームウェア アップデート

表 26. 概要

オプション	説明
	• [バッテリー] ○ プライマリ (システム) パスワード ○ バッテリー レベル ○ バッテリー状態 ○ 正常性 ○ AC アダプター • [プロセッサ情報] ○ プロセッサの種類 ○ 最大クロック スピード ○ 最小クロック スピード ○ 現在のクロック スピード ○ コア数 ○ プロセッサ ID ○ Processor L2 のキャッシュ ○ Processor L3 のキャッシュ ○ マイクロコードのバージョン ○ インテル ハイパースレッディング対応 ○ 64 ビット テクノロジー • [メモリー構成] ○ インストールされたメモリー ○ 使用可能なメモリー ○ メモリー スピード ○ メモリー チャンネル モード ○ メモリー テクノロジー ○ DIMM_Slot 1 ○ DIMM_Slot 2 • [デバイス情報] ○ パネルのタイプ ○ ビデオ コントローラー ○ ビデオ メモリー ○ Wi-Fi デバイス ○ Native Resolution ○ ビデオ BIOS バージョン ○ オーディオ コントローラー ○ Bluetooth デバイス ○ LOM MAC アドレス

起動設定

表 27. 起動設定

オプション	説明
[ブート シーケンス]	PC によるオペレーティング システムの検索順序を変更できます。 このオプションは次のとおりです。 • [ウィンドウズブートマネージャー] • [UEFI ハード ドライブ] • [オンボード NIC (IPV4)] • [オンボード NIC (IPV6)]  メモ: レガシー起動モードは、このプラットフォームではサポートされていません。

表 27. 起動設定（続き）

オプション	説明
[セキュア ブート]	セキュア ブートでは、システムの起動で検証済みの起動ソフトウェアのみを使用します。 [セキュア ブートを有効にする]: デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。  メモ: [セキュア ブートを有効にする] を有効に設定するには、システムが UEFI 起動モードである必要があります。
[セキュア ブート モード]	セキュア ブート操作モードを変更すると、セキュア ブートの動作が変更され、UEFI ドライバー署名の評価ができるようになります。 このオプションは次のとおりです。 • [Deployed Mode] — デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。 • [監査モード]
[エキスパートキー管理]	Expert Key Management を有効または無効にすることができます。 [Enable Custom Mode] — デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。 Custom Mode Key Management のオプションは次のとおりです • [PK]: デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。 • [KEK] • [db] • [dbx]

内蔵デバイス

表 28. 内蔵デバイス オプション

オプション	説明
[日付/時刻]	日付と時間を設定することができます。システム日時の変更はすぐに反映されます。
[カメラ]	カメラを有効または無効にできます。 [カメラを有効にする]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
[オーディオ]	すべての組み込み型オーディオの電源をオフにできます。デフォルトでは [Enable Audio] オプションが選択されています。 組み込み型オーディオまたはマイクロフォンとスピーカーを、個別に有効または無効にできます。デフォルトでは Enable Audio オプションが選択されています。 このオプションは次のとおりです。 • [Enable Microphone (マイクロフォンを有効にする)] • [Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする)]
[USB 設定]	内部または内蔵 USB の設定を有効または無効にできます。 このオプションは次のとおりです。 • [Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする)] • [外部 USB ポートを有効にする]

表 28. 内蔵デバイス オプション（続き）

オプション	説明
	デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。

ストレージ

表 29. ストレージオプション

オプション	説明
[SATA の動作]	統合 SATA ハード ドライブ コントローラーの動作モードを設定することができます。 このオプションは次のとおりです。 • [無効] • [AHCI] • [RAID On] — デフォルトでは、[RAID On] オプションは有効に設定されています。 ① メモ: RAID モードをサポートするには SATA を設定します。
[ストレージ インターフェイス]	各種 オンボード ドライブ を有効または無効に設定することができます。 このオプションは次のとおりです。 • [M.2 PCIe SSD-1] • [M.2 PCIe SSD-0] デフォルト設定では、すべてのオプションが有効に設定されています。
[SMART レポート]	このフィールドでは、統合ドライブのハード ドライブ エラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。このテクノロジーは、Self Monitoring Analysis and Reporting Technology (SMART) 仕様の一部です。デフォルトでは、[Enable SMART Reporting] オプションは無効に設定されています。
[ドライブ 情報]	ドライブの種類とデバイスに関する情報が記載されています。

ディスプレイ

表 30. ディスプレイオプション

オプション	説明
[ディスプレイの明るさ]	バッテリーおよび AC 電源で動作しているときの画面の明るさを設定できます。 このオプションは次のとおりです。 • [バッテリー電源の明るさ]: デフォルトでは、50 に設定されています。 • [AC 電源の明るさ]: デフォルトでは、100 に設定されています。
[フル スクリーン ロゴ]	イメージが画面解像度に一致する場合に、フル スクリーン ロゴを表示します。 デフォルトでは、すべてのオプションが無効です。

Connection options (接続オプション)

表 31. 接続

オプション	説明
[内蔵 NIC]	内蔵 NIC は、オンボード LAN コントローラーを制御します。 UEFI ネットワーキング プロトコルがインストールされていて 利用できる場合は、Pre-OS および初期オペレーティングシステム のネットワーキング機能が有効な NIC を使用できます。 このオプションは次のとおりです。 • [無効] • [有効] • [PXE で有効]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
[ワイヤレス デバイスを有効にする]	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。 このオプションは次のとおりです。 • [WLAN] • [Bluetooth] 両方のオプションがデフォルトで有効に設定されています。
[UEFI ネットワーク スタックを有効にする]	オンボード LAN コントローラーを制御できるようにします。 UEFI ネットワーキング プロトコルがインストールされていて 利用できる場合は、Pre-OS および初期オペレーティングシステム のネットワーキング機能が有効な NIC を使用できます。 [UEFI ネットワーク スタックの有効化]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

電源管理

表 32. 電源管理

オプション	説明
[バッテリー設定]	ピーク電力消費時間中に、システムをバッテリーで動作させることができます。 このオプションは次のとおりです。 • [Adaptive] — デフォルトで有効 • [Standard (標準)] • [Express Charge] • [主に AC を使用] • [カスタム]  メモ: Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。
[高度な設定]	このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。 デフォルトでは、[Enable Advanced Battery Charge Mode] オプションは無効に設定されています。  メモ: ユーザーは、[開始時刻] と [動作時間] を使用してバッテリーを充電できます。 デフォルトでは、[動作時間] は無効に設定されています。 バッテリーをより早く充電するには、Express Charge を使用します。
[ピーク シフト]	ピーク電力消費時間中に、システムをバッテリーで動作させることができます。 [ピーク シフト]: このオプションはデフォルトで無効に設定されています。

表 32. 電源管理 (続き)

オプション	説明
	メモ: ユーザーは次の操作を実行できます。 • [バッテリーしきい値] を最小 = 15、最大 = 100 に設定する。 • [ピーク シフト開始]、[ピーク シフト終了]、および [ピーク シフト充電開始] を使用して、1 日の特定の時間帯に AC 電源が使用されないようにする。
[温度管理]	ファンを冷却し、プロセッサ温度管理によってシステムのパフォーマンス、ノイズ、および温度を調整できます。 このオプションは次のとおりです。 • [最適化]: デフォルトで有効に設定されています。 • [Cool (クール)] • [Quiet (静音)] • [ウルトラ パフォーマンス]
[USB ウェイク サポート]	Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする) USB デバイスでシステムをスタンバイ モードからウェイクさせることができます。デフォルトでは、[Enable USB Wake Support] オプションは無効に設定されています。 Wake on Dell USB-C ドック Dell USB-C ドックを接続して、システムをスタンバイ モードからウェイクさせることができます。 デフォルトでは、[ウェイク オン Dell USB-C ドック] オプションは有効に設定されています。 メモ: これらの機能は、AC 電源アダプターを接続している場合のみ有効になります。スタンバイ モードになる前に AC 電源アダプターを取り外すと、BIOS はバッテリーの電力を節約するため、すべての USB ポートへの電力供給を停止します。
[ブロック スリープ]	このオプションでは、オペレーティング システムの環境でスリープ (S3) モードになることを防ぐことができます。デフォルトでは、[Block Sleep] オプションは無効に設定されています。 メモ: [ブロック スリープ] が有効な場合、システムはスリープ状態になりません。インテル ラピッド スタートは自動的に無効になり、スリープに設定された場合、オペレーティング システムの電源オプションは空白のままになります。
[Lid スイッチ]	Lid スイッチを無効にすることができます。 このオプションは次のとおりです。 • [Enable Lid Switch] — デフォルトで有効 • [Power On Lid Open] - デフォルトで有効
[インテル Speed Shift テクノロジー]	インテル Speed Shift テクノロジーのサポートを有効または無効にできます。デフォルトでは、[インテル Speed Shift テクノロジー] は有効に設定されています。このオプションを有効に設定すると、オペレーティング システムが適切なプロセッサ パフォーマンスを選択できるようになります。

セキュリティ

表 33. セキュリティ

オプション	説明
[TPM 2.0 セキュリティ]	Trusted Platform Module (TPM) を有効または無効にできます。 このオプションは次のとおりです。 • [TPM 2.0 セキュリティ オン]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [有効なコマンドの PPI をスキップ] • [無効なコマンドの PPI をスキップ]

表 33. セキュリティ（続き）

オプション	説明
	• [Clear コマンドの PPI をスキップ] • [Attestation Enable] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Key Storage Enable] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [SHA-256] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Clear (クリア)] • [TPM 状態]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
[インテルソフトウェア ガード エクステンションズ]	メイン オペレーティング システムのコンテキストでコードを実行したり、機密情報を保存したりするための安全な環境を提供し、Enclave 予約メモリー サイズを設定します。 [Intel SGX] このオプションは次のとおりです。 • [無効] • [有効] • [ソフトウェア制御]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
[SMM セキュリティの緩和]	UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。 [SMM セキュリティの緩和]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
[次回起動時にデータを消去]	次の再起動時に、BIOS はマザーボードに接続されているストレージ デバイスのデータ消去サイクルをキューイングできます。 [データ消去の開始]: このオプションはデフォルトで無効に設定されています。  メモ: セキュア消去操作では、情報を再構築できないように削除します。
[Absolute]	このフィールドでは、オプションの Absolute® Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュールインターフェイスを、有効化、無効化、恒久的な無効化のいずれかに設定できます。 このオプションは次のとおりです。 • [Absolute を有効にする]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Absolute を無効にする] • [Absolute を恒久的に無効にする]
[UEFI 起動パス セキュリティ]	F12 起動メニューから UEFI 起動パス デバイスを起動する場合に、システムがユーザーに管理者パスワード（設定されている場合）を入力するように求めるかどうかを制御します。 このオプションは次のとおりです。 • [なし] • [常時] • [内蔵 HDD を除き常時]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [内蔵 HDD および PXE を除き常時]

パスワード

表 34. セキュリティ

オプション	説明
[管理者パスワード]	管理者（Admin）パスワードを設定、変更、または削除することができます。 パスワードを設定するには、次の項目を入力します。 • [以前のパスワードを入力する:] • [新たなパスワードを入力する:] 新しいパスワードを入力したら [Enter] を押し、もう一度 [Enter] を押して新しいパスワードを確認します。

表 34. セキュリティ（続き）

オプション	説明
	❗ メモ: 管理者パスワードを削除すると、システム パスワードが削除されます（設定されている場合）。このため、システム パスワードが設定されている場合、管理者パスワードを設定できません。したがって、管理者パスワードをシステム パスワードとともに使用する必要がある場合は、まず管理者パスワードを設定する必要があります。 ❗ メモ: このシステムでは、ハード ドライブ パスワードはサポートされません。
[システム パスワード]	システムパスワードを設定、変更、または削除できます。 パスワードを設定するには、次の項目を入力します。 • [以前のパスワードを入力する：] • [新たなパスワードを入力する：] 新しいパスワードを入力したら [Enter] を押し、もう一度 [Enter] を押して新しいパスワードを確認します。
[パスワードの設定]	パスワードを設定できます。 大文字 これを有効にすると、このフィールドはパスワードに少なくとも 1 個の大文字を含める必要があります。 小文字 これを有効にすると、このフィールドはパスワードに少なくとも 1 個の小文字を含める必要があります。 桁 これを有効にすると、このフィールドはパスワードに少なくとも 1 桁の数字を含める必要があります。 特殊文字 これを有効にすると、このフィールドはパスワードに少なくとも 1 個の特殊文字を含める必要があります。 ❗ メモ: これらのオプションはデフォルトでは無効になっています。 最小文字数 パスワードに使用できる文字数を定義します。最小 = 4
[パスワードのスキップ]	これを設定すると、システムの再起動時にシステム パスワードの入力をスキップできます。 ❗ メモ: このシステムでは、ハード ドライブ パスワードはサポートされません。 このオプションは次のとおりです。 • [Disabled] — このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Reboot bypass (再起動のスキップ)]
[パスワードの変更]	管理者パスワードを入力することなく、システム パスワードを変更できます。 [管理者以外のパスワードの変更を有効化]: デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。 ❗ メモ: このシステムでは、ハード ドライブ パスワードはサポートされません。
[管理者設定のロック]	管理者は、ユーザーが BIOS セットアップにアクセスする方法を制御できます。 [管理者セットアップ ロックアウトの有効化]: デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。 ❗ メモ: • 管理者パスワードが設定され、[管理者セットアップ ロックアウトの有効化] が有効になっている場合、管理者パスワードがないと（F2 または F12 を使用して）BIOS セットアップを表示できません。 • 管理者パスワードが設定され、[管理者セットアップ ロックアウトの有効化] が無効になっている場合、BIOS セットアップに入ることができ、ロック モードで表示されるアイテムを表示できます。

表 34. セキュリティ（続き）

オプション	説明
[マスター パスワードのロック]	マスター パスワードのサポートを無効にすることができます。 [マスター パスワード ロックアウトの有効化]: デフォルトでは、このオプションは無効に設定されています。  メモ: このシステムでは、ハード ドライブ パスワードはサポートされません。

アップデートとリカバリー

表 35. アップデートとリカバリー

オプション	説明
[UEFI Capsule Firmware Updates]	システム BIOS を UEFI カプセル アップデート パッケージでアップデートすることができます。 [UEFI カプセル ファームウェア アップデートを有効にする]: デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。
[ハード ドライブからの BIOS リカバリー]	破損したプライマリー ハード ドライブまたは USB ドライブの BIOS を回復できます。 [B ハード ドライブからの BIOS リカバリー]: デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。  メモ: ハード ドライブからの BIOS リカバリーは、自己暗号化ドライブ（SED）では利用できません。
[BIOS ダウングレード]	前のバージョンへのシステム ファームウェアのフラッシングを制御できます。 [BIOS のダウングレードを許可する]: デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。
[SupportAssist OS リカバリー]	特定のシステム エラーが発生した場合に、SupportAssist OS リカバリーの起動フローを有効または無効にすることができます。 [SupportAssist OS リカバリー]: デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。  メモ: [SupportAssist OS リカバリー] 設定オプションが無効になっていると、SupportAssist OS リカバリー ツールのすべての自動起動フローが無効になります。
[BIOSConnect]	メイン オペレーティング システムやローカル サービスのオペレーティング システムが、自動オペレーティング システム回復しきい値設定で指定された値以上の失敗数で起動に失敗した場合に、クラウド サービスのオペレーティング システムを回復することができます。 [BIOS 接続]: デフォルトでは、このオプションは有効に設定されています。
[Dell Auto OS Recovery Threshold]	Auto OS Recovery threshold セットアップオプションでは、SupportAssist システム解決コンソールおよび Dell OS Recovery Tool の自動フローを制御します。 このオプションは次のとおりです。 • [消灯] • [1] • [2]: デフォルト • [3]

システム管理

表 36. システム管理

オプション	説明
[サービス タグ]	Pc のサービス タグを表示します。
[Asset Tag]	Asset Tag は 64 文字の文字列で、IT 管理者が特定のシステムを一意に識別するために使用します。 asset Tag が設定されている場合は変更できません。
[AC 動作]	AC アダプターが接続されると PC の電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 [Wake on AC (ウェイクオン AC)] このオプションはデフォルトでは無効になっています。
[自動電源オン時刻]	この設定により、システムの電源を定義された曜日/時刻に自動的にオンにすることができます。 このオプションは次のとおりです。 • [無効]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Every Day (毎日)] • [Weekdays (平日)] • [Select Days (選択した日)]

キーボード

表 37. キーボード

オプション	説明
[有効な Numlock]	システム起動時に Numlock 機能を有効または無効にできます。 [Enable Numlock (Numlock を有効にする)] このオプションはデフォルトで有効化されています。
[Fn ロック オプション]	ファンクション キーの設定を変更できます。 [Fn ロック モード] このオプションはデフォルトで有効化されています。 このオプションは次のとおりです。 • [ロック モード標準] • [ロック モードセカンダリー]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
[キーボード ライト]	通常 of システム操作中に、ホットキー<Fn>+<F5>を使用してキーボードのライト設定をセットできます。 このオプションは次のとおりです。 • [無効] • [Dim (暗い)] • [明るい]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。  メモ: キーボードのライトの明るさは 100% に設定されています。
[Keyboard Backlight Timeout on AC (AC でのキーボードバックライトのタイムアウト)]	この機能は、AC アダプターがシステムに接続されている場合 of、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定します。 このオプションは次のとおりです。 • [5 秒] • [10 秒]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。

表 37. キーボード（続き）

オプション	説明
	• [15 秒] • [30 秒] • [1 分間] • [5 分間] • [15 分間] • [なし] ① メモ: [なし] を選択した場合、システムに AC アダプターが接続されているときはバックライトは常にオンのままです。
[Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッテリーでのキーボードバックライトのタイムアウト)]	この機能は、システムをバッテリー電源のみで実行している場合の、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定します。 このオプションは次のとおりです。 • [5 秒] • [10 秒]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [15 秒] • [30 秒] • [1 分間] • [5 分間] • [15 分間] • [なし] ① メモ: [なし] を選択した場合、システムがバッテリー電源で作動しているとき、バックライトは常にオンのままです。

起動前の作動

表 38. 起動前の作動

オプション	説明
[アダプターの警告]	このオプションでは、電力容量の少ないアダプターが検出された場合、起動中に警告メッセージを表示します。 • [Enable Adapter Warnings] — デフォルトで有効
[警告とエラー]	このオプションは、警告とエラーが検出された場合に停止、メッセージの表示、ユーザー入力の待機を実行する代わりに、起動プロセスを一時停止させます。この機能は、システムをリモートで管理している場合に便利です。 次のいずれかのオプションを選択します。 • [Prompt on Warnings and Errors] — デフォルトで有効 • [継続する警告] • [継続する警告とエラー] ① メモ: システム ハードウェアの動作によって重大と判断されるエラーが検出された場合、システムは常に停止します。
[USB-C の警告]	このオプションでは、ドック警告メッセージを有効または無効にします。 [ドック警告メッセージを有効にする]: デフォルトで有効に設定されています。
[ファストブート]	このオプションでは、UEFI 起動プロセスのスピードを設定できます。 次のいずれかのオプションを選択します。 • [最小] • [完全]: デフォルトで有効に設定されています。 • [自動]

表 38. 起動前の作動（続き）

オプション	説明
[BIOS POST 時間の延長]	このオプションでは、BIOS POST のロード時間を設定できます。 次のいずれかのオプションを選択します。 • [0 秒]: デフォルトで有効に設定されています。 • [5 秒] • [10 秒]
[マウス/タッチパッド]	このオプションでは、システムによるマウスとタッチパッド入力の処理を定義します。 次のいずれかのオプションを選択します。 • [Serial Mouse (シリアルマウス)] • [PS/2 マウス] • [タッチパッドと PS/2 マウス]: デフォルトで有効に設定されています。

仮想化サポート

表 39. 仮想化サポート

オプション	説明
[インテル バーチャライゼーション テクノロジー]	このオプションでは、システムを仮想マシン モニター (VMM) で実行できるかどうかを指定します。デフォルトでは、[インテル バーチャライゼーション テクノロジー (VT) を有効にする] オプションが有効に設定されています。
[Direct I/O 用 VT]	このオプションでは、システムでダイレクト I/O 向けのバーチャライゼーション テクノロジー (メモリー マップ I/O 向けのインテルの仮想化手法) を実行できるかどうかを指定します。デフォルトでは、[ダイレクト I/O 向けインテル VT を有効にする] オプションが有効に設定されています。

パフォーマンス

表 40. パフォーマンス

オプション	説明
[マルチ コア サポート]	このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。デフォルト値は、コアの最大数に設定されています。 • [すべてのコア]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [1] • [2] • [3]
[インテル SpeedStep]	この機能では、システムがプロセッサの電圧とコア周波数を動的に調整し、平均電力消費量と発熱量を削減できます。 [インテル SpeedStep を有効にする] このオプションはデフォルトで有効化されています。
[C ステータス コントロール]	この機能では、低電力状態を開始して終了する CPU の機能を有効化または無効化することができます。 [C ステータス コントロールを有効にする] このオプションはデフォルトで有効化されています。

表 40. パフォーマンス（続き）

オプション	説明
[Intel ターボブーストテクノロジー]	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。 [インテル ターボ ブースト テクノロジーを有効にする] このオプションはデフォルトで有効化されています。
[インテル ハイパースレッディング テクノロジー]	このオプションでは、ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にできます。 [インテル ハイパースレッディング テクノロジーを有効にする] このオプションはデフォルトで有効化されています。

システムログ

表 41. システムログ

オプション	説明
[BIOS Event Log]	BIOS イベント ログの保持や消去をすることができます。 [BIOS イベント ログの消去] このオプションは次のとおりです。 • [保持]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Clear (クリア)]
[Thermal Event Log]	サーマル イベント ログの保持や消去をすることができます。 [Clear Thermal Event Log] このオプションは次のとおりです。 • [保持]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Clear (クリア)]
[Power Event Log]	電源イベント ログの保持や消去をすることができます。 [電源イベント ログの消去] このオプションは次のとおりです。 • [保持]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 • [Clear (クリア)]

Windows での BIOS のアップデート

システム ボードを交換する場合やアップデートが入手できる場合は、BIOS（システム セットアップ）をアップデートすることをお勧めします。ノートパソコンの場合、BIOS のアップデートを開始する前に、お使いの PC のバッテリーがフル充電されていて電源に接続されていることを確認してください。

メモ: BitLocker が有効になっている場合は、システム BIOS をアップデートする前に一時停止し、BIOS のアップデート完了後に再度有効にする必要があります。

詳細については、ナレッジベース記事「[Windows で TPM を使用して BitLocker を有効または無効にする方法](#)」を参照してください。

1. PC を再起動します。
2. Dell.com/support にアクセスしてください。
 - [サービス タグ] や [エクスプレス サービス コード] を入力し、[送信] をクリックします。
 - [Detect Product] をクリックして、画面に表示される指示に従います。

3. サービス タグを検出または検索できない場合は、[**Choose from all products**] をクリックします。
4. リストから [Products] カテゴリを選択します。
 **メモ:** 該当するカテゴリを選択して製品ページに移動します。
5. お使いの PC モデルを選択すると、その PC の [製品サポート] ページが表示されます。
6. [Get drivers] をクリックし、[Drivers and Downloads] をクリックします。
[Drivers and Downloads] セクションが開きます。
7. [**Find it myself**] をクリックします。
8. [**BIOS**] をクリックして BIOS のバージョンを表示します。
9. 最新の BIOS ファイルを選んで、[Download] をクリックします。
10. [Please select your download method below] ウィンドウで希望のダウンロード方法を選択し、[ファイルのダウンロード] をクリックします。
[ファイルのダウンロード] ウィンドウが表示されます。
11. ファイルを PC に保存する場合は、[保存] をクリックします。
12. [実行] をクリックしてお使いの PC に更新された BIOS 設定をインストールします。
画面の指示に従います。

BitLocker が有効なシステムでの BIOS のアップデート

 **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この件の詳細については、ナレッジベース記事を参照してください。[**BitLocker が有効になっている Dell システムでの BIOS のアップデート (英語)**] <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

Linux および Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート

Ubuntu などの Linux 環境でシステム BIOS をアップデートする場合は、[**Linux または Ubuntu 環境での Dell BIOS のアップデート**] を参照してください。

F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のフラッシュ

FAT32 USB キーにコピーされた BIOS アップデート.exe ファイルを使用したシステム BIOS のアップデートと、F12 ワンタイム ブート メニューからのブート

BIOS のアップデート

ブータブル USB キーを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、システムの F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年以降に構築されたほとんどの Dell 製システムにはこの機能があり、システムを F12 ワンタイム ブート メニューで起動することにより、システムのブート オプションとして [BIOS アップデート] がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

 **メモ:** F12 ワンタイム ブート メニューに [BIOS フラッシュ アップデート] オプションがあるシステムのみがこの機能を使用できます。

ワンタイム ブート メニューからのアップデート

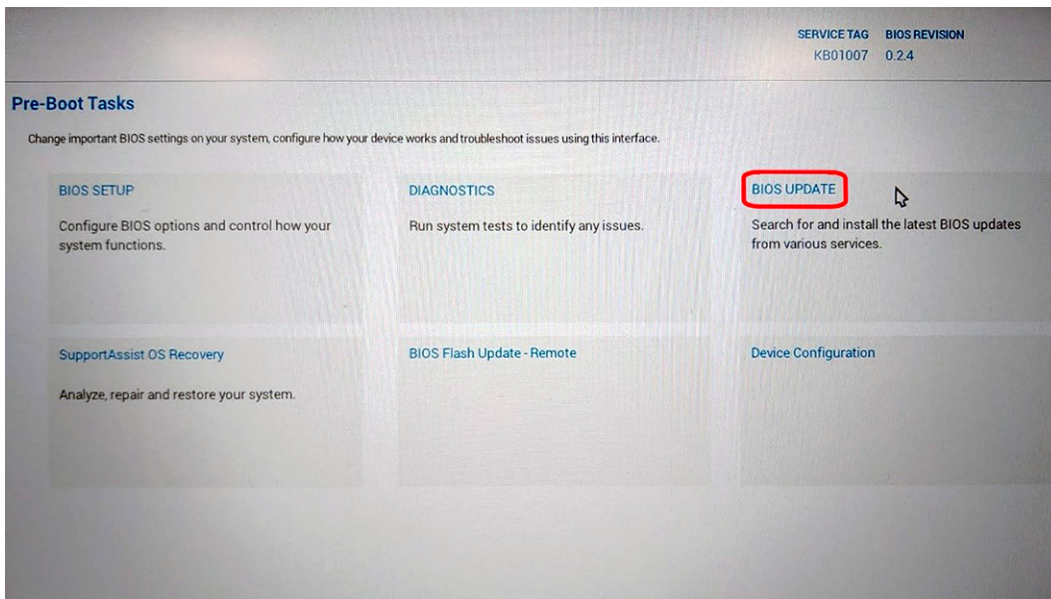
F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートするには、次のものがが必要です。

- FAT32 ファイルシステムにフォーマットされた USB キー (キーはブータブルでなくてもよい)
- Dell サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB キーの root にコピーした BIOS 実行可能ファイル
- システムに接続された AC 電源アダプター
- BIOS をフラッシュする動作可能なシステム バッテリー

F12 メニューから BIOS アップデート フラッシュ プロセスを実行するには、次の手順を実行します。

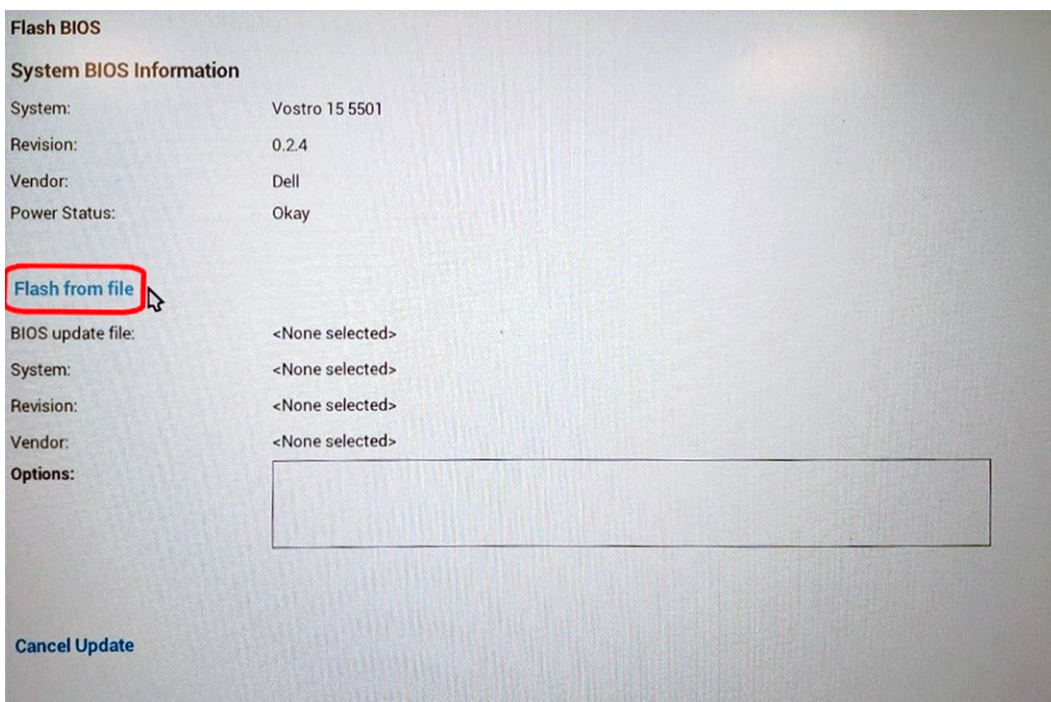
△ **注意:** BIOS のアップデート プロセス中にシステムの電源をオフにしないでください。システムの電源をオフにすると、システムが起動しない可能性があります。

1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB キーをシステムの USB ポートに挿入します。
2. システムの電源を入れ、F12 キーを押してワンタイム ブート メニューにアクセスします。
3. マウスまたは矢印キーを使用して [BIOS アップデート] を選択し、[Enter] を押します。

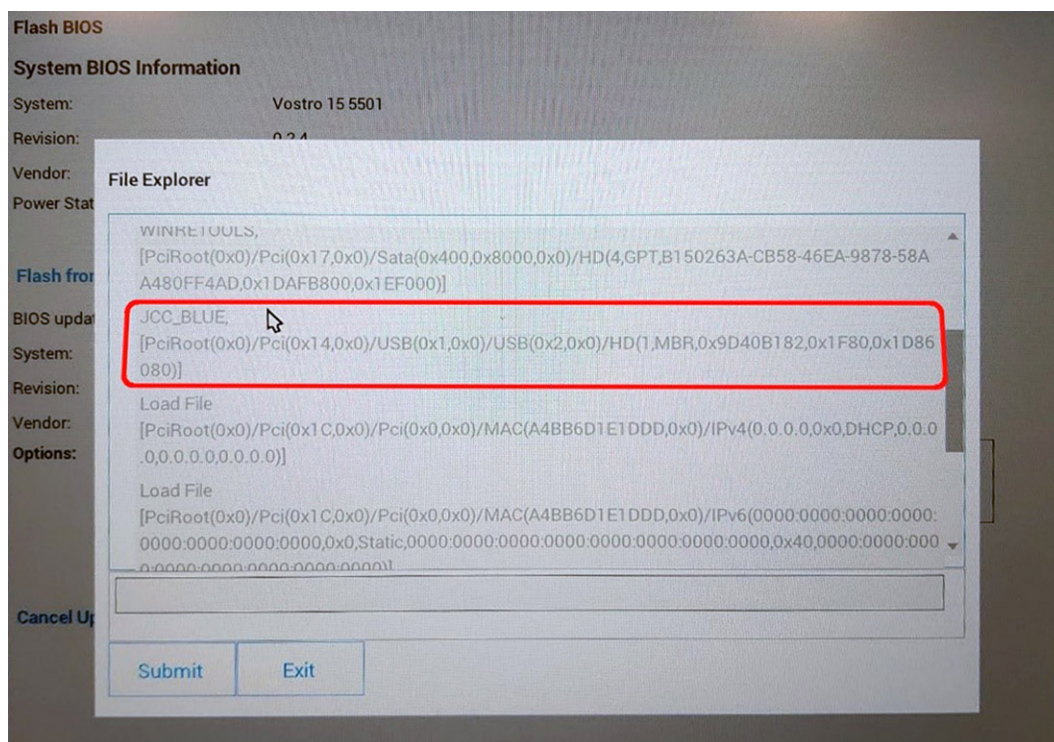


[[BIOS のフラッシュ]] が開きます。

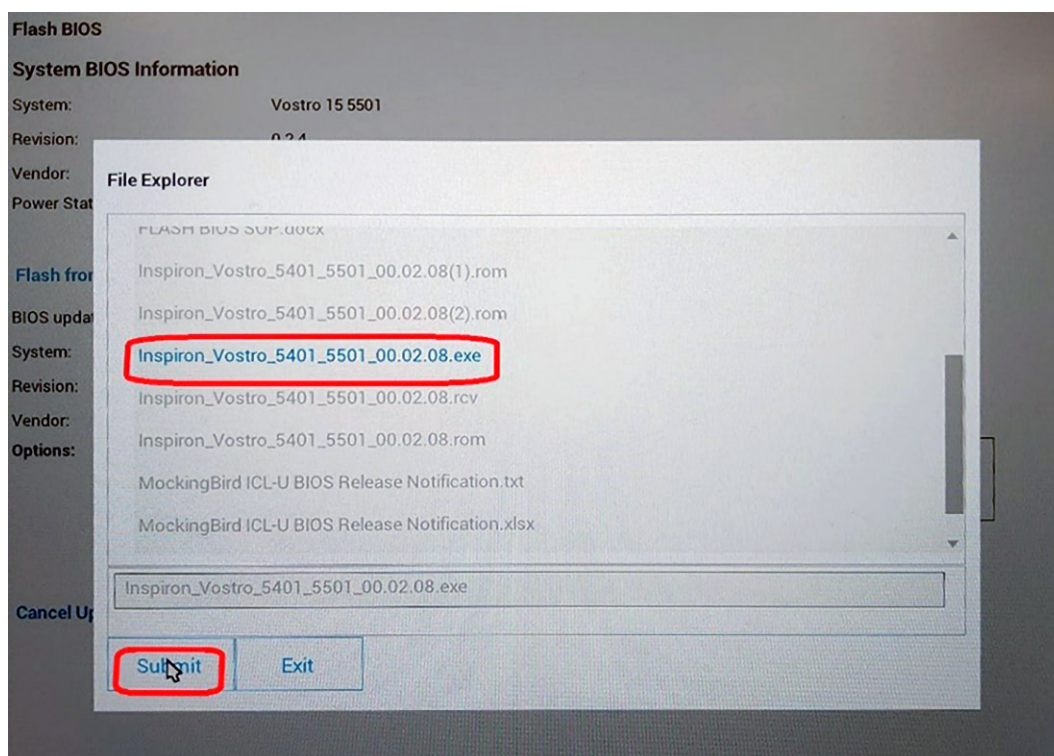
4. [ファイルからフラッシュ] をクリックします。



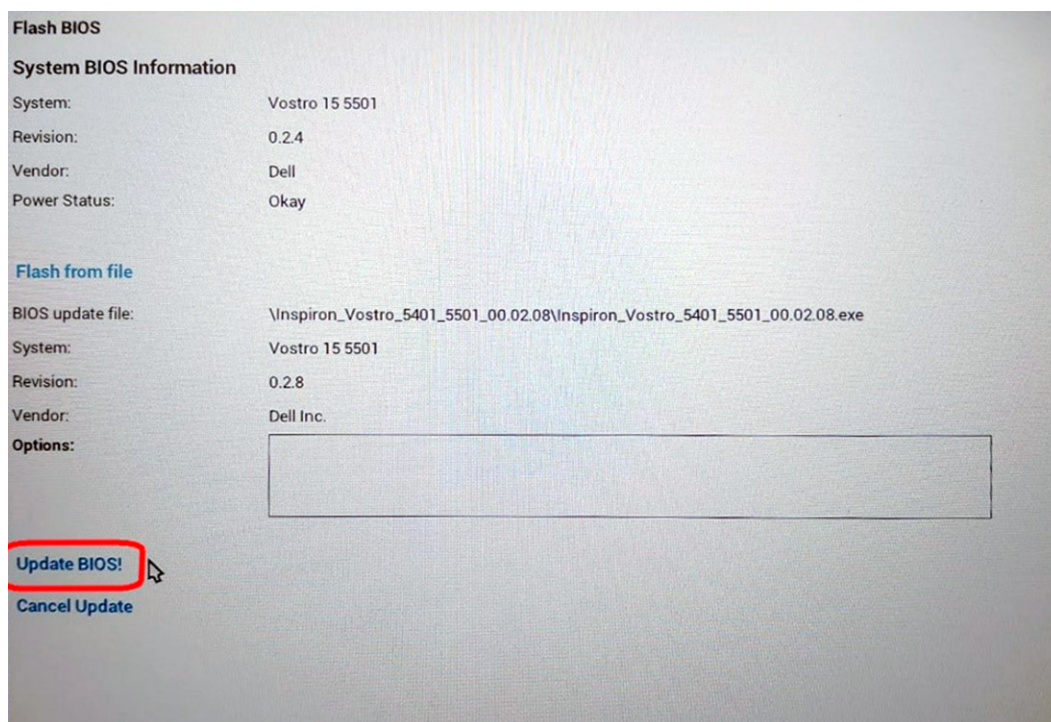
5. 外部 USB デバイスを選択します。



6. ファイルを選択したら、フラッシュ ターゲット ファイルをダブルクリックして [送信] をクリックします。



7. [BIOS をアップデートする] をクリックすると、システムが再起動して BIOS をフラッシュします。



8. 完了するとシステムが再起動し、BIOS のアップデート プロセスが完了します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 42. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログオンする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

△ **注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△ **注意:** コンピュータをロックせずに放置すると、コンピュータ上のデータにアクセスされる可能性があります。

① **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

ステータスが [未設定] の場合のみ、新しい [システム パスワードまたは管理者パスワード] を割り当てることができます。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F2 を押します。

1. [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[セキュリティ] 画面が表示されます。

2. [システム/管理者パスワード] を選択し、[新しいパスワードを入力] フィールドでパスワードを作成します。

以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。

- パスワードの文字数は 32 文字までです。
- 0 から 9 までの数字を含めることができます。
- 小文字のみ有効です。大文字は使用できません。
- 特殊文字は、次の文字のみが利用可能です：スペース、() \ (+) , \ (-) \ (.) \ (/) \ (;) \ ([) \ (\) \ (]) \ (`)

3. [新しいパスワードの確認] フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
4. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
5. **Y** を押して変更を保存します。
PC が再起動します。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、**パスワード ステータス**が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。**パスワード ステータス**がロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に **F2** を押します。

1. [システム BIOS] 画面または [システム セットアップ] 画面で、[システム セキュリティ] を選択し、**Enter** を押します。
[システムセキュリティ] 画面が表示されます。
2. [システムセキュリティ] 画面で [パスワードステータス] が [ロック解除] に設定されていることを確認します。
3. [システム パスワード] を選択し、既存のシステム パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。
4. [セットアップ パスワード] を選択し、既存のセットアップ パスワードを変更または削除して、**Enter** または **Tab** を押します。

① メモ: システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよびセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。

5. **Esc** を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. **Y** を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

トピック：

- [Dell へのお問い合わせ](#)

Dell へのお問い合わせ

 **メモ:** インターネットにアクセスできない場合には、注文書、配送伝票、請求書、または Dell 製品カタログにある、お問い合わせ情報をご利用ください。

Dell では、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell のセールス、テクニカルサポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. [Dell.com/support] にアクセスしてください。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [国 / 地域の選択] ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 目的のサービスまたはサポートを選択します。